

成果の説明書

(氏名) 梅田宙	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究】</p> <p>①刊行物</p> <p>(1)論文</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙(2023)「日本の上場企業の BSC 導入事例の整理と考察—公表資料に基づく分析—」『日本知的資産経営学会誌』 Vol.9, pp.65-77。・梅田宙(2024)「インタンジブルズの構築と活用による価値創造—株式会社日立製作所の Lumada に基づく考察—」『明治大学経営論集』 Vol.71, No.3,pp.29-51。・梅田宙・森田稔(2024)「上場企業の営業活動によるキャッシュ・フロー使用に関する実証分析—有価証券報告書からのパネル・データに基づく検証—」『高崎経済大学論集』 Vol.66, No.4, pp.307-326。 <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙(2023)「Salon de Critique BSC 活用を阻害しうる判断バイアス」『企業会計』 Vol.75, No.7, pp.128-129。・梅田宙(2023)「Salon de Critique 経営者行脚評価への非財務情報の活用」『企業会計』 Vol.75, No.8, pp.126-127。 <p>②口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙「コロナ禍における BSC の役立ち：2 病院の事例に基づく考察」2023 年 8 月 25 日 日本医療バランスト・スコアカード研究学会第 20 回学術総会・梅田宙「コロナ禍における BSC の活用」2023 年 9 月 23 日 2023 年度日本知的資産経営学会 <p>③未刊行の原稿</p> <ul style="list-style-type: none">・(2024)「わが国企業における予算制度の実態調査報告書」『産業経理』・(2025)「BSC と HR スコアカードの関連性」(国際会計研究学会)・(2025)「ホワイトカラーの生産性向上と管理会計」(日本管理会計学会産学連携)・(2025)「コロナ禍における BSC を活用した病床転換」『日本医療 BSC 研究学会誌』 <p>【教育】</p> <p>課題出題の回数を増やし、課題のフィードバックを次回の授業で行うことを心掛けた。選択式の課題を提示し、問題を解く過程で受講生の理解度が高まることをめざした。レポート課題を課し添削を行い、全受講生にフィードバックした。学生の理解を促進することを狙いとし、パワーポイント資料に加えて穴埋め形式のレジュメを作成した。また、課題提出の際に授業に関する質問欄を設けた。</p> <p>ゼミは、テキストの輪読、経済紙や新聞を活用した企業のケース分析、卒業論文の指導などを行った。課外活動では、ゼミ合宿を行い、日経ストックリーグに参加した。またオンライン形式でインゼミを実施した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・日本管理会計学会 2023 年度年次全国大会 準備委員・日本知的資産経営学会第 11 回年次大会 準備委員 理事・日本知的資産経営学会 学会誌の J-stage 搭載作業・日本医療バランスト・スコアカード研究学会 監事・『日商簿記検定 2 級模擬試験問題集 2024 年度版』実教出版 工業簿記作問・校閲	

3 次年度以降の計画・抱負

【研究】

- ・ BSC 活用の実態調査研究を進めていく。
- ・ BSC と HR スコアカードの関係性の調査
- ・ コロナ禍の BSC の役立ちについてのインタビュー調査

【教育】

- ・ 講義：過年度資料をベースとしつつ、内容を更新する。
- ・ ゼミ：輪読を継続するとともに今年度も他大学とのインゼミでの報告を目指す。